

# ポータブル複合X線分析による 福建省陶磁器の元素分析（その1）

會澤純雄<sup>※1</sup>・桑  
羊澤林<sup>※3</sup>・栗

静<sup>※2</sup>・平原英俊<sup>※1</sup>  
建安<sup>※3</sup>・徳留大輔<sup>※4</sup>

## 1. はじめに

岩手大学平泉文化研究センターは、1) 平泉出土の白磁、青磁の産地推定、2) 白磁、青磁の流通の動態、3) 福建省地域における窯業のあり方を解明するために、当研究センターが所有するポータブルX線回折・蛍光X線分析装置（Portable X-ray diffractometer equipped with XRF, 以後、XRDFと略記する）を用いて、陶磁器の主要元素の成分と組成を明らかにする調査研究を、中国および平泉で平成23年より行っている。青磁は主に龍泉窯青磁の影響を受けた製品や所謂同安窯系のタイプである。XRDF測定を行う理由や目的に関しては、既に別稿にて記した通りである（會澤ら2014、2015）。

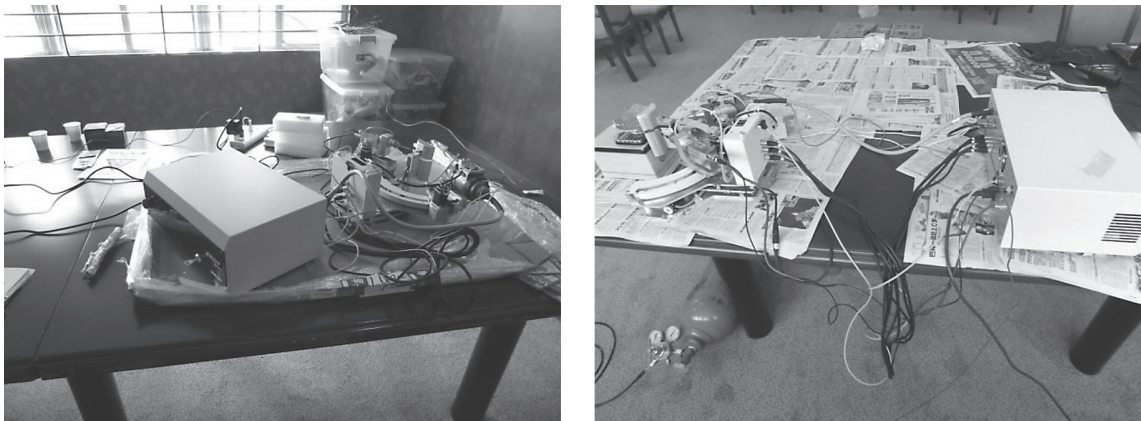


図1 福建博物院文物考古研究所でのXRDFの設置

※1 岩手大学工学部，平泉文化研究センター

※2 岩手大学工学部

※3 中国福建博物院文物考古研究所

※4 公益財団法人 出光美術館



図2 XRF測定時のキャピラリーと試料の位置関係（左：断面，右：表面）

## 2. 計測装置および計測の方法

測定は理研機器（株）製ポータブル複合X線分析装置DF-01を用いた（図1）。測定にはX線源としてCrK  $\alpha$ 線（管電流35 kV、管電圧0.8 mA）を用い、図2に示したとおり、キャピラリーの先端から試料までの距離0.5 cmの位置からX線を照射し、半導体検出器とマルチチャンネルアナライザーにより測定を行った。回折線を除去するために、2つの角度 $\theta = 55^\circ$ および $60^\circ$ においてそれぞれ60秒間測定した。また、高純度のHeガスをキャピラリーから試料周辺へ流通させることにより、空気雰囲気下では感度の低い元素についても高感度で測定することが可能である。

元素分析は測定ソフトウェアに搭載されたFP（ファンダメンタルパラメータ）法により行った。測定元素はAl、Si、K、Ti、Fe、Ca、Mnとし、組成をそれぞれ酸化物濃度に換算して求めた。

## 3. 試料

試料は2014年3月、7月の2回に分けて計測を行った。

場所：福建省文物考古研究所

試料：表1

試料は、平泉をはじめ日本各地に舶来している製品が、数多く焼造されていると考えられる閩江流域の窯址を中心に試料96点の計測を行った。平泉出土の中国陶磁器との比較を行うために12～13世紀代の製品を中心に試料を選択したが、窯間や時代差についても確認する目的もあるため、一部、14世紀代の製品についてもとりあげ計測を行った。測定した試料は白磁、青磁、黒釉陶器である。

試料は閩江流域に関しては、閩清義窯、福州宦溪窯、連江浦口窯、南平茶洋窯、また閩

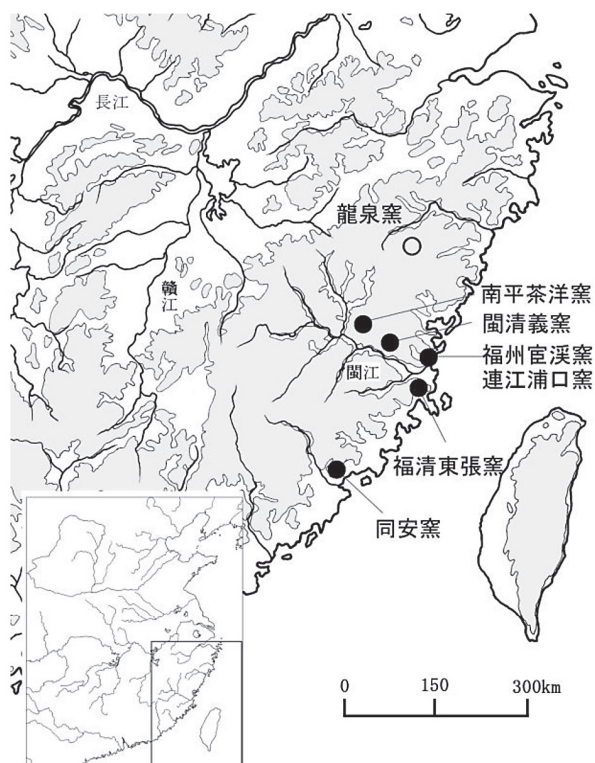


図3 陶磁器が出土した窯址の位置関係

江下流域の周辺地域の福清東張窯（嶺下、石坑）、さらには閩南の同安汀溪窯である（図3）。

#### 4. 測定結果

福建博物院文物考古研究所が所有する陶磁器をXRDFによって測定した組成分析の結果を表1に、測定した陶磁器の写真を図4に示す。表1の測定位置は、断面が胎土、表面が釉薬を示している。



図4 測定した福建博物院文物考古研究所所有の陶磁器の写真

断面の胎土について、主成分である $\text{SiO}_2$ は60～70数%の範囲であり、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は概ね15～25%、 $\text{K}_2\text{O}$ は4～10%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は1～5%であった。 $\text{CaO}$ は大部分が1%以下であり、一部0%の含有率の試料もあった。 $\text{TiO}_2$ 、 $\text{MnO}$ の含有率は1%以下であった。

表面の釉薬について、 $\text{SiO}_2$ は55～70%、 $\text{Al}_2\text{O}_3$ は概ね11～15%の範囲であった。 $\text{K}_2\text{O}$ は4～12%、 $\text{Fe}_2\text{O}_3$ は1未満～5%と比較的ばらつきがみられた。 $\text{CaO}$ の含有率は大部分が5～15%程度であるが、No. 72のように微量の場合やNo.34や36のように20%を超える場合もあった。このようなばらつきは測定位置やX線の深さなどにも影響されると推察された。また、 $\text{TiO}_2$ は1%以下の含有率となり、ばらつきは少ないことが示された。一方、 $\text{MnO}$ は汀溪窯において、2%程度と他の試料に比べ高くなる傾向が見られた。

今後は、平泉から出土した陶磁器の組成分析を実施し、それらの統計処理ならびに中国陶磁器との比較を行い、産地特定につながるデータ収集を行う予定である。

表1 XRFによる福建省陶磁器の組成分析 (%)

No.	試料	試料名・出土地	種類・器種	測定位置	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	TiO <sub>2</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CaO	MnO	備考
1	2014.03-hxbq 01	宦溪窯板橋	白磁水注	断面	23.0	66.5	5.70	0.361	2.92	0.891	0.560	頸部から口縁部のみ残存。胎土は灰色。緻密で、挟雑物は見られない。平泉で見られる水注に近いタイプと思われる。口縁部が残る。釉色は透明で胎灰色気味。
1	2014.03-hxbq 01	宦溪窯板橋	白磁水注	表面	14.9	65.7	6.62	0.304	1.24	10.5	0.695	肩の一部から口縁部まで残存。胎土はhxbq01同様に灰白色であるがやや白味をおおびる。肩部の裏側まで釉葉がかかっている。釉葉は全体に薄い。釉色は透明で胎灰色気味。
2	2014.03-hxbq 02	宦溪窯板橋	白磁水注	断面	22.1	69.6	5.32	0.290	2.10	0.0721	0.593	肩の一部から口縁部まで残存。胎土はhxbq01同様に灰白色であるがやや白味をおおびる。肩部の裏側まで釉葉がかかっている。釉葉は全体に薄い。釉色は透明で胎灰色気味。
2	2014.03-hxbq 02	宦溪窯板橋	白磁水注	表面	17.1	65.3	5.93	0.223	1.49	9.00	1.02	白磁水注の流。hxbq01 や 02 と比べるとやや胎は粗雑か。黒色の挟雑物が見られる。しかし胎は緻密。釉色は透明で胎白灰色気味。
3	2014.03-hxbq 03	宦溪窯板橋	白磁水注	断面	19.9	72.2	5.24	0.255	1.96	0.102	0.377	口タイプ、口縁部内面に一周構位に沈縷。内面には劃花文。外面は無文。胎は灰白色。緻密。釉葉はかなり薄い。釉葉は内面にすべて掛けられ、外面には器高中央付近まで施釉される。下部は無釉。
3	2014.03-hxbq 03	宦溪窯板橋	白磁水注	表面	14.9	64.3	7.49	0.209	1.55	10.2	1.34	口タイプ、口縁部内面に一周構位に沈縷。内面には劃花文。外面は無文。胎は灰白色。緻密。釉葉はかなり薄い。釉葉は内面にすべて掛けられ、外面には器高中央付近まで施釉される。下部は無釉。
4	2014.03-hxbq 04	宦溪窯板橋	青磁碗の破片	断面	22.9	68.8	5.57	0.314	2.18	0.187	0.00	灰白色の胎土。白磁や青磁と同じ胎土。黒釉の発色は良い。釉葉は外面中央下まで。釉垂れる。なお、釉葉に関しては測定ができません。
4	2014.03-hxbq 04	宦溪窯板橋	青磁碗の破片	表面	13.4	67.8	6.45	0.211	1.64	9.35	1.11	胎は茶褐色。釉は内面全釉、外面は胴部中央よりやや下部付近まで施釉。高台胎に平坦になるようなかたちでやや斜めに削られ、また高台部は中央部が窪み、高台端部はななめに削りが入る。
5	2014.03-hxbq 05	宦溪窯板橋	黒釉碗	断面	21.2	70.6	5.13	0.388	2.39	0.0578	0.172	頸部から口縁部。把手の一部残る。把手の上部付け根付近には沈縷が3条巡る。胎は白味をおおびる灰白色。田中のII期頃。1150年頃。
6	2014.03-hxbq 06	宦溪窯板橋	黒釉碗	表面	18.0	53.8	6.70	0.677	5.19	14.4	1.19	肩部から頸部まで。頸部のつけねに「吉」字銘をもつ。全体に白濁に近い白磁。内面にも釉葉がかかる。肩部付近には釉はかからない。硬質。やや胎に挟雑物が含まれる。
7	2014.03-hxhy 1point 01	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	断面	23.4	68.9	5.22	0.278	1.92	0.0576	0.203	腹部から底部。内面施釉。内面胴部付近には釉が掛からない箇所あり。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。ドーナツ状の輪トチンが付着。そのため底部裏は無釉。釉はやや白濁気味。貫入が入る。
7	2014.03-hxhy 1point 01	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	表面	17.1	62.7	8.75	0.24	1.45	8.86	0.869	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。底部裏は無釉。釉はやや白濁気味。貫入が入る。
8	2014.03-hxhy 1point 02	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	断面	21.2	69.9	5.45	0.399	2.38	0.130	0.546	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
8	2014.03-hxhy 1point 02	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	表面	16.6	66.9	5.72	0.201	1.38	8.53	0.625	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
9	2014.03-hxhy 1point 03	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	断面	20.2	70.6	5.95	0.315	2.05	0.202	0.656	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
9	2014.03-hxhy 1point 03	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	表面	18.0	59.4	9.04	0.253	2.02	10.2	1.04	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
10	2014.03-hxhy 1point 04	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	断面	21.2	70.3	5.33	0.290	2.44	0.0433	0.359	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
10	2014.03-hxhy 1point 04	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	表面	18.2	65.4	6.52	0.308	2.00	6.86	0.734	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。
11	2014.03-hxhy 1point 05	宦溪 Haiyou (石十亥、石十由)	白磁水注	断面	21.5	70.1	5.95	0.229	1.75	0.0144	0.405	腹部から底部。内面施釉。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。外面は高台量付き付近まで施釉。胎はやや白濁気味。貫入が入る。

11	2014.03-hxhy 1point 05	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	白磁水注	表面	17.0	61.7	8.45	0.25	1.63	9.97	0.94	
12	2014.03-hxhy 1point 06	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	白磁水注	断面	19.2	70.3	7.80	0.264	2.18	0.00	0.232	口縁部から頸部で接着している痕跡が明確。胎は灰白色。夾雑物少なく、緻密。やや黒色の夾雑物あり。内面施釉。貫入が入る。
12	2014.03-hxhy 1point 06	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	白磁水注	表面	17.6	64.8	9.15	0.205	1.26	9.95	0.980	
13	2014.03-hxhy 1point 07	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	白磁碗	断面	18.8	72.0	6.61	0.289	1.93	0.00	0.420	口縁部が肥厚で浅い碗あるいは皿。胎は灰白色。緻密であるがやや夾雑物が見られる。釉は薄い。
13	2014.03-hxhy 1point 07	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	白磁碗	表面	16.3	66.4	6.88	0.223	1.81	7.36	1.05	
14	2014.03-hxhy 1point 08	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	青磁(白磁に近しい)碗	断面	20.6	67.8	6.97	0.347	2.70	0.770	0.880	龍泉窯の模倣。内面は刻花文。外面は粗い連弁文。外面は高台置付まで施釉。高台内は露胎。高台裏は兜巾状。内面に鏡あり。鏡部分は無文。胎は粗く夾雑物あり。褐色の胎。釉は青味をおひる。
14	2014.03-hxhy 1point 08	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	青磁(白磁に近しい)碗	断面	21.5	67.7	6.84	0.348	2.53	0.500	0.496	
14	2014.03-hxhy 1point 08	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	青磁(白磁に近しい)碗	表面	12.7	60.6	7.35	0.103	0.799	18.0	0.442	
15	2014.03-hxhy 1point 09	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	青磁(白磁に近しい)碗	断面	19.7	69.0	7.80	0.300	1.78	0.830	0.635	龍泉窯の模倣。内面は刻花文。外面は粗い連弁文。外面は高台置付まで施釉。高台内は露胎。高台裏は兜巾状。内面に鏡あり。鏡部分は無文。胎は粗く夾雑物あり。褐色の胎。釉は青味をおひる。高台には整餅が付着。高台にまでつつかり付く。
15	2014.03-hxhy 1point 09	宦溪 Haiyou(石十亥、石十由)	青磁(白磁に近しい)碗	表面	12.1	61.2	3.88	0.115	1.06	21.4	0.237	
16	2014.03-yiyao No2_10 sample01	義窯2号窯:10	白磁皿	断面	16.5	74.9	6.63	0.194	1.17	0.0145	0.580	玉縁口縁。胎は灰白色。若干黒色の夾雑物あり。釉は薄い。透明釉。釉は高台置付脇まで。置付は無釉。
16	2014.03-yiyao No2_10 sample01	義窯2号窯:10	白磁皿	表面	16.0	65.8	6.93	0.281	1.85	8.38	0.803	
17	2014.03-yiyao No2_14 sample02	義窯2号窯:14	白磁皿	断面	22.4	68.9	6.35	0.253	1.52	0.0288	0.483	胎は灰白色。胎は灰白色。かなり胎は粗雑。釉葉はやや白濁系。外面には底部付近まで施釉。外面は無文。内面側壁に刻花文。
17	2014.03-yiyao No2_14 sample02	義窯2号窯:14	白磁皿	表面	15.6	66.3	6.57	0.305	1.30	9.40	0.561	
18	2014.03-yiyao No3_05 sample03	義窯3号窯:05	白磁碗	断面	19.4	70.5	6.35	0.277	2.19	0.746	0.513	口縁部はやや外反。胎は灰白色。胎はやや粗雑。釉葉は透明。外面には底部付近まで施釉。一部高台置付まで釉がかかる。底部裏は露胎。外面無文。内面は側壁から鏡にかけて刻花文。
18	2014.03-yiyao No3_05 sample03	義窯3号窯:05	白磁碗	表面	16.5	63.5	9.27	0.220	1.04	8.59	0.839	
19	2014.03-yiyao No3_02 sample04	義窯3号窯:02	白磁碗	断面	19.4	70.9	7.11	0.229	1.81	0.00	0.590	口縁部はやや外反。輪花形。胎は灰白色。釉葉は透明。外面には底部付近まで施釉。一部高台置付脇まで釉がかかる。底部裏は露胎。外面無文。内面は側壁に刻花文。鏡部に刻花による花文様あり。
19	2014.03-yiyao No3_02 sample04	義窯3号窯:02	白磁碗	表面	14.7	66.3	9.51	0.257	1.06	7.58	0.649	
20	2014.03-yiyao No2_12 sample05	義窯2号窯:12	白磁碗	断面	18.4	69.9	8.09	0.215	1.42	1.31	0.602	高台が高いタイプ。口縁部は外反。折口。輪花形。出筋あり。胎は灰白色。夾雑物あり。釉葉は透明。外面には底部付近まで施釉。一部高台置付脇まで釉がかかる。底部置付、底部裏は露胎。外面無文。
20	2014.03-yiyao No2_12 sample05	義窯2号窯:12	白磁碗	表面	16.6	71.6	8.04	0.239	1.704	1.24	0.572	

21	2014.03-yiyao No3.08 sample06	義窯 3 号窯:08	白磁皿	断面	16.6	71.6	8.03	0.239	1.70	1.24	0.572	輪花形。出筋あり。胎は灰白色。夾雑物あり。釉薬は透明。外面には高台脇まで施釉。底部裏は露胎。無文。
21	2014.03-yiyao No3.08 sample06	義窯 3 号窯:08	白磁皿	表面	13.6	62.9	8.69	0.219	2.27	11.9	0.402	
22	2014.03-yiyao No2.08 sample07	義窯 2 号窯:08	白磁碗	断面	14.8	71.9	10.4	0.286	1.92	0.0995	0.524	輪花形。出筋あり。胎は灰白色。夾雑物あり。釉薬は透明。外面には高台脇まで施釉。底部裏は露胎。墊餅の跡あり。無文。かなり精緻な作りであり裏徳鎮の青白瓷を写していると思われる。
22	2014.03-yiyao No2.08 sample07	義窯 2 号窯:08	白磁碗	表面	15.2	65.5	9.88	0.280	1.88	6.80	0.467	
23	2014.03-yiyao huli No1 sample08	義窯湖里①	白磁碗	断面	20.2	72.2	5.39	0.206	1.57	0.0145	0.42	口縁部やや肥厚。高台が高いタイプ。やや焼きが甘い。胎は黄色を帯びた白色。釉は底部付近まで。一部高台脇までかかる。底部裏はやや突起状になる。
23	2014.03-yiyao huli No1 sample08	義窯湖里①	白磁碗	表面	17.0	64.3	6.73	0.316	1.87	9.00	0.845	
24	2014.03-yiyao huli No2 sample09	義窯湖里②	白磁碗	断面	20.5	68.9	8.10	0.215	1.58	0.00	0.618	口縁玉縁。胎は灰白色。釉は底部付近まで。一部高台付近までかかる。釉は透明。鑄部分は一周削っている。底部は斜めに内側に削る。削りは浅い。
24	2014.03-yiyao huli No2 sample09	義窯湖里②	白磁碗	表面	15.4	64.5	7.37	0.326	1.40	10.3	0.797	
25	2014.03-yiyao huli No4 sample10	義窯湖里④	白磁皿	断面	19.8	68.8	9.03	0.239	1.52	0.00	0.570	出筋あり。胎は灰白色。夾雑物多い。
25	2014.03-yiyao huli No4 sample10	義窯湖里④	白磁皿	表面	13.6	69.1	6.76	0.307	1.33	8.13	0.838	
26	2014.03-yiyao huli No3 sample11	義窯湖里③	白磁碗	断面	19.9	70.5	7.62	0.192	1.28	0.00	0.497	胎は灰白色。夾雑物多い。内面無文。外面は刻花。波状の刻線。高台裏には墊餅あり。釉薬は高台付け根付近まで。鑄部分は一周刻線。内面側壁にも刻線ある。
26	2014.03-yiyao huli No3 sample11	義窯湖里③	白磁碗	表面	13.4	66.7	6.40	0.304	1.91	10.6	0.695	
27	2014.03-yiyao huli No4 sample12	義窯湖里⑤	白磁碗	断面	18.1	74.5	5.38	0.207	1.31	0.0290	0.503	胎は灰白色。夾雑物多い。内面無文。外面は刻花。波状の刻線。高台裏には墊餅あり。釉薬は高台付け根付近まで。鑄部分は一周刻線。内面側壁にも刻線ある。
27	2014.03-yiyao huli No4 sample12	義窯湖里⑤	白磁碗	表面	13.8	70.2	5.42	0.344	1.63	7.86	0.721	
28	2014.03-yiyao gqyz No1 sample13	義窯過橋①	白磁小碗	断面	19.7	70.1	9.40	0.169	0.815	0.0287	0.560	玉縁口縁。胎は灰白色。夾雑物あり。内外面無文。釉薬は外面腰部付近。高台裏の削りは浅め。
28	2014.03-yiyao gqyz No1 sample13	義窯過橋①	白磁小碗	表面	13.6	65.9	10.5	0.279	0.975	8.28	0.555	
29	2014.03-yiyao gqyz No2 sample14	義窯過橋②	白磁小碗	断面	20.7	70.9	6.26	0.193	1.38	0.00	0.608	玉縁口縁。胎は灰白色。夾雑物あり。内外面無文。釉薬は外面中部付近まで。高台裏の削りは浅め。ロクロによる回転跡が残る。やや焼きが甘い。
29	2014.03-yiyao gqyz No2 sample14	義窯過橋②	白磁小碗	表面	18.7	62.9	7.30	0.222	1.50	8.87	0.497	
30	2014.03-yiyao gqyz No3 sample15	義窯過橋③	白磁小碗	断面	17.4	71.0	9.37	0.191	1.34	0.0285	0.633	口縁やや外反。胎は灰白色。夾雑物多い。内外面無文。釉薬は外面腰下付近まで。
30	2014.03-yiyao gqyz No3 sample15	義窯過橋③	白磁小碗	表面	16.2	63.6	11.2	0.197	2.20	5.94	0.584	
31	2014.03-yiyao gqyz No4 sample 16	義窯過橋④	白磁小碗	断面	20.1	66.3	11.8	0.236	1.25	0.00	0.351	鑄部分を少し削り出し。口縁やや肥厚。胎は灰白色。内外面無文。釉薬は量付脇まで。
31	2014.03-yiyao gqyz	義窯過橋④	白磁小碗	表面	15.0	63.0	11.0	0.277	1.87	8.48	0.387	

32	No4 sample 16 2014.03-pukou01 lubei	浦口窯 01	青磁碗	断面	15.9	70.1	10.0	0.344	2.73	0.0141	0.965	口縁部は外反。胎土は灰白色でやや粗い。黒色の夾雑物あり。高台が高い。外面は中央付近まで施釉。外・内面無文。
32	2014.03-pukou01 lubei	浦口窯 01	青磁碗	表面	16.0	58.9	11.8	0.489	2.43	9.52	0.911	
33	2014.03-pukou02 lubei	浦口窯 02	青磁碗	断面	17.2	69.8	8.60	0.465	3.20	0.0569	0.693	内底面は乾の目状に釉剥ぎ。内底付近から胴部にかけて点列文。胎は灰白色。緻密であるがやや夾雑物あり。外面は腰部付近まで軸葉をかける。篋状工具で櫛描状の文様あり。高台削りだし面が外面に強く残る。
33	2014.03-pukou02 lubei	浦口窯 02	青磁碗	表面	10.9	53.9	10.1	0.297	3.50	20.3	1.11	
34	2014.03-pukou03 lubei	浦口窯 03	青磁碗	断面	16.2	68.7	10.7	0.342	3.39	0.00	0.686	浦口 02 と同タイプ。但し内面は無文。
34	2014.03-pukou03 lubei	浦口窯 03	青磁碗	表面	14.6	49.7	8.55	0.186	1.81	24.3	0.820	
35	2014.03-pukou04 lubei	浦口窯 04	青磁碗	断面	20.4	70.8	5.85	0.254	2.15	0.0432	0.530	内面劃花文。花草文様か。外面は篋状工具による櫛目文。胎は灰白色。
35	2014.03-pukou04 lubei	浦口窯 04	青磁碗	表面	14.2	59.5	8.27	0.148	2.08	15.2	0.647	
36	2014.03-pukou05 lubei	浦口窯 05	青磁碗	断面	20.0	71.3	5.52	0.302	2.30	0.0721	0.578	内面劃花文。外面は篋状工具で櫛描文。高台外面の削り出しがはつきりとしている。胎は灰白色。外面は腰部付近まで施釉。
36	2014.03-pukou05 lubei	浦口窯 05	青磁碗	表面	14.5	55.6	5.41	0.158	1.52	21.8	0.960	
37	2014.03-pukou06 lubei	浦口窯 06	青磁碗	断面	20.2	71.0	5.99	0.242	2.07	0.0576	0.437	内面側壁に劃花文。外面無文。方形形状の量付き。やや斜めに高台内側を削り出し。外面高台筋まで施釉。量付から底部裏にかけて露胎。
37	2014.03-pukou06 lubei	浦口窯 06	青磁碗	表面	13.5	61.5	9.53	0.149	1.63	13.2	0.502	
38	2014.03-pukou07 lubei	浦口窯 07	青磁碗	断面	22.3	66.0	8.94	0.309	1.97	0.00	0.446	外面櫛描文。内面点列文。やや口縁部は外反。外面腰部付近まで施釉。高台外側の削り出しは明瞭。
38	2014.03-pukou07 lubei	浦口窯 07	青磁碗	表面	13.2	57.2	6.05	0.497	2.52	19.7	0.773	
39	2014.03-pukou08 lubei	浦口窯 08	白磁皿	断面	18.7	72.4	6.21	0.218	1.81	0.0577	0.546	内底に刻花草花文。胎は灰白色
39	2014.03-pukou08 lubei	浦口窯 08	白磁皿	表面	13.4	61.6	8.86	0.149	2.18	13.2	0.503	
40	2014.03-pukou09 lubei	浦口窯 09	白磁碗	断面	22.0	67.2	8.16	0.275	1.84	0.0142	0.509	白濁系の釉色。胎は灰白色。やや粗め。腰部の下半まで施釉。玉縁状の口縁と思われる。
40	2014.03-pukou09 lubei	浦口窯 09	白磁碗	表面	16.3	64.4	11.8	0.232	1.14	5.27	0.914	
41	2014.03-pukou10 lubei	浦口窯 10	青磁碗	断面	18.1	71.7	6.60	0.373	2.75	0.0287	0.436	粗製品。南宋後期から元。外面に連弁文。灰白色の胎。夾雑物もやや見られる。
41	2014.03-pukou10 lubei	浦口窯 10	青磁碗	表面	13.7	63.3	7.74	0.254	1.78	12.9	0.388	
42	2014.03-pukou11 lubei	浦口窯 11	白磁	断面	19.7	70.2	7.20	0.240	1.98	0.158	0.435	壺か水注の肩部付近。焼成不良
42	2014.03-pukou11 lubei	浦口窯 11	白磁壺	表面	14.3	60.8	9.35	0.137	2.55	12.5	0.340	

43	lubei 2014.03-pukou12	浦口窯 12	青磁碗	断面	18.2	69.2	7.71	0.274	2.34	1.88	0.400	内面無文。外面蓮弁文。高台は方形状。高台内側の挟りも粗い。灰白色。透明釉。鏡あり。
43	lubei 2014.03-pukou12	浦口窯 12	青磁碗	表面	14.6	56.1	6.45	0.147	2.47	19.86	0.451	
44	lubei 2014.03-pukou13	浦口窯 13	白磁碗	断面	18.7	72.1	6.98	0.241	1.61	0.0288	0.390	無文。白濁色系。夾雜物が多い。灰白色の胎。
44	lubei 2014.03-pukou13	浦口窯 13	白磁碗	表面	16.4	65.7	9.39	0.234	1.43	5.97	0.800	
45	lubei 2014.03-pukou14	浦口窯 14	白磁小碗	断面	17.8	72.4	7.44	0.253	1.88	0.00	0.218	無文。玉縁。夾雜物が多い。灰白色の胎。外面中ほどまで施釉。
45	lubei 2014.03-pukou14	浦口窯 14	白磁小碗	表面	17.9	63.8	10.8	0.315	1.92	4.36	0.827	
46	lubei 2014.03-pukou15	浦口窯 15	白磁小碗	断面	20.0	69.2	7.77	0.287	1.83	0.0714	0.835	無文。玉縁。夾雜物が多い。灰白色の胎。浦口 14 と同タイプだが、高台量付の幅が狭い。
46	lubei 2014.03-pukou15	浦口窯 15	白磁小碗	表面	16.5	62.7	10.8	0.208	1.60	7.49	0.656	
47	東張嶺下窯:03	東張嶺下窯:03	青磁碗	断面	21.2	68.4	6.28	0.456	3.18	0.115	0.326	南宋期。外面は口縁下に一周、横位に刻線が入る。また胴部には襷描文。内面は片切彫りと浅い刷毛目状の文様。内底は鏡あり。高台裏はトキン状。高台はやや角高台気味。粗い削り。外面腰から高台脇近くまで施釉。胎は緻密で灰白色。釉は比較的濃い黄緑色。
47	東張嶺下窯:03	東張嶺下窯:03	青磁碗	表面	13.8	63.4	7.82	0.358	2.03	11.4	1.21	
48	東張嶺下窯:13	東張嶺下窯:13	青磁碗	断面	18.8	71.6	5.97	0.435	2.68	0.101	0.421	南宋期。外壁は密な襷描文。内壁は片切彫りによる草花文。之字点列文もある。高台は比較的高く、畳付は細い。高台内も丁寧に削られ中心はややトキン状。胎は、灰白色でやや黒色の夾雜物あり。釉は外面は一部高台脇まで施釉。釉色は深い黄緑色を呈する。内面は蛇の目状に釉剥ぎしており、露胎部には重ねた際に敷いた砂状の粒が見られる。釉は二重かけと思われる。
48	東張嶺下窯:13	東張嶺下窯:13	青磁碗	表面	16.5	62.0	6.61	0.510	3.37	9.83	1.26	
49	東張嶺下窯:10	東張嶺下窯:10	青磁碗	断面	21.0	69.5	6.26	0.337	2.53	0.100	0.280	南宋期。外面は高台脇まで襷描文。内壁には片切彫りとやや粗い刷毛状の文様。内底無文。鏡あり。角高台でかなり幅広(8 mm)。高台裏はトキン状で、高台高は低い。胎は灰白色。黒い夾雜物あり。釉は黄緑色。
49	東張嶺下窯:10	東張嶺下窯:10	青磁碗	表面	16.1	65.1	7.31	0.374	3.06	6.88	1.22	
50	東張嶺下窯:20	東張嶺下窯:20	青磁碗	断面	19.3	70.9	5.20	0.580	3.14	0.0865	0.843	南宋期。外面は襷描文。内面は刻花文と刷毛状文様
50	東張嶺下窯:20	東張嶺下窯:20	青磁碗	表面	15.4	65.4	6.36	0.421	2.93	8.07	1.48	
51	東張嶺下窯:05	東張嶺下窯:05	青磁皿	断面	25.0	61.2	8.18	0.461	4.19	0.324	0.626	南宋期。高台付き皿。内外面無文。高台内の削りはトキン状にした粗い。胎は灰白色。外面は上から三分の一程度までしか施釉せず。黄青色。
51	東張嶺下窯:05	東張嶺下窯:05	青磁皿	表面	16.2	64.8	7.92	0.433	4.13	5.47	1.01	
52	東張嶺下窯:33	東張嶺下窯:33	白磁碗	断面	20.6	65.9	11.0	0.272	1.67	0.113	0.535	口禿げ。ロクロ成形したあとに型押し成形。徳化、莆田、福清→型で底部を作る。南安にはない。閩江流域にはない。
52	東張嶺下窯:33	東張嶺下窯:33	白磁碗	表面	12.7	64.1	9.16	0.393	1.67	11.5	0.447	
53	東張嶺下窯:26	東張嶺下窯:26	白磁碗	断面	23.1	67.5	5.88	0.396	2.31	0.0573	0.775	外面は襷描文。蛇の目状の釉剥ぎを内底は行う。重ね焼きで付着。腰付近まで施釉。
53	東張嶺下窯:26	東張嶺下窯:26	白磁碗	表面	23.9	66.4	6.40	0.360	2.14	0.157	0.665	
53	東張嶺下窯:26	東張嶺下窯:26	白磁碗	表面	15.5	63.1	8.47	0.278	1.08	10.9	0.643	
54	東張嶺下窯:28	東張嶺下窯:28	白磁碗	断面	20.1	70.4	6.94	0.241	1.84	0.101	0.343	無文。灰白色の胎。やや義窯に近いような釉の霽囲気。内面底は釉剥きか。高



54	2014.07-DL28	東張嶺下窯:28	白磁碗	表面	16.6	67.7	7.83	0.437	1.25	5.27	0.915	台皿付はやや幅広。高台脇まで一部施釉。
55	2014.07-DL25	東張嶺下窯:25	黒釉碗	断面	22.9	67.5	5.01	0.517	3.46	0.158	0.496	閩江流域で多いタイプ。釉は茶褐色が主。高台裏の削り込みは浅い。釉は胴部中下まで施釉。
55	2014.07-DL25	東張嶺下窯:25	黒釉碗	表面	13.9	61.7	8.34	0.987	7.29	6.92	0.815	
56	2014.07-DL24	東張嶺下窯:24	黒釉碗	断面	25.1	63.0	4.15	0.822	6.07	0.454	0.400	DL25と同じタイプ。黒釉。外面の施釉はわずか。
56	2014.07-DL24	東張嶺下窯:24	黒釉碗	表面	18.4	59.7	8.28	0.818	5.73	6.33	0.744	
57	2014.07-DL12	東張嶺下窯:12	青磁碗	断面	21.6	68.7	6.07	0.361	2.93	0.0287	0.326	南宋期。外面は高台脇まで繪描文。内壁には刻花文と刷毛目の文様。鏡あり。内底にも刻花文。高台はやや高く、薄め。高台裏の削りも丁寧でほぼ平らに成形されている。釉は深い黄緑色。高台量付脇まで一部施釉されている。
57	2014.07-DL12	東張嶺下窯:12	青磁碗	表面	14.4	64.9	6.66	0.396	2.03	10.4	1.13	
58	2014.07-DS01	東張石坑窯2号:12	青磁碗	断面	18.3	70.1	7.46	0.527	3.07	0.171	0.433	口縁部はわずかに外反。外壁に斜状に繪描文。内面には口縁部下に横位に沈線が二条。その内側に浪状の文様。その下に草花文を刻花で表し、周辺を之字点列文。鏡には刻花文が花状に旋回。胎は灰白色。釉は深い黄緑色。高台付根部分まで施釉。古いタイプあるいはその写し。
58	2014.07-DS01	東張石坑窯2号:12	青磁碗	表面	13.8	65.5	7.72	0.477	1.68	9.78	1.05	
59	2014.07-DS02	東張石坑窯2号:32	青磁碗	断面	20.0	68.5	7.15	0.538	2.91	0.242	0.710	口縁部はやや内傾。外面には細い繪描文が縦位に刻まれる。内面には口縁部下に一条横位に沈線。その下には細い刻花文。鏡があるが無文。高台は幅広の角高台。胎は緻密で灰白色。釉は底部近くまで施釉される。高台内は若干凸状だが丁寧な作り。
59	2014.07-DS02	東張石坑窯2号:32	青磁碗	表面	15.4	65.0	8.13	0.431	1.62	8.418	1.02	
60	2014.07-DS03	東張石坑窯2号:17	青磁皿	断面	19.8	66.4	8.33	0.581	2.93	1.27	0.689	口縁部はわずかに外反。外壁は斜状に繪描文。内面には口縁部下に横位に二条の沈線。その間には波状の沈線文。その下を之字点列文が施される。内底には片切り彫り花文様が表される。胎は緻密で灰白色。釉は薄くかけられ、深い黄緑色。外面は高台付根付近まで施釉。角高台気味で、量付は幅広。高台内の削りは浅いが、丁寧な成形されている。
60	2014.07-DS03	東張石坑窯2号:17	青磁皿	表面	12.1	66.4	8.07	0.349	2.32	9.75	1.01	
61	2014.07-DS04	東張石坑窯2号:34	青磁碗	断面	21.4	67.1	6.88	0.526	3.36	0.200	0.509	やや内傾する口縁部。外面には縦位に繪描文を施す。内面には口縁下に一条横位に沈線文があり、刷毛状の文様。鏡あり。胎は灰白色。夾雜物あり。高台はきれいに削りだし。高台の抉りは浅い。施釉は高台付根付近まで。トキン状。釉色は深い黄緑色。
61	2014.07-DS04	東張石坑窯2号:34	青磁碗	表面	15.4	65.2	8.44	0.420	2.56	6.95	1.01	
62	2014.07-DS05	東張石坑窯2号:11	青磁碗	断面	22.5	67.2	6.35	0.515	2.91	0.200	0.371	口縁部はわずかに外反。外面には斜め状に繪描文が高台付近まで刻まれる。内面は口縁下に一周横位に沈線文。片切り彫り草花状の文様のあと之字点列文。鏡はあるが内底無文。胎は緻密で白灰色。釉色は浅い白色がかかった緑色。胴下部あたりまで施釉。高台はしっかりと角高台状に作られる。高台裏の削りは浅い。ややトキン状を呈する。
62	2014.07-DS05	東張石坑窯2号:11	青磁碗	表面	12.8	62.9	8.16	0.483	1.94	12.3	1.40	
63	2014.07-DS06	東張石坑窯2号:14	青磁碗	断面	20.8	65.0	9.06	0.581	3.47	0.566	0.551	口縁部がやや肥厚気味で外反する小型の碗。外面は連弁文で連弁の内側に縦位に複数の刻花文。粗めの刻花文、刷毛目の文様。内底は広めで鏡あり。高台は丁寧な削りだされているが、量付はあ斜め状に削って作られている。

63	2014.07-DS06	東張石坑窯 2 号:14	青磁碗	表面	12.5	64.5	8.17	0.370	2.82	10.3	1.30	また高台裏側への挟りも細く、兜巾状になっている。釉色はやや濃い緑色を呈しており、外面は胴部中程まで施釉。胎は灰色気味。やや粗い。
64	2014.07-DS07	東張石坑窯 2 号:29	青磁碗	断面	19.4	68.8	7.42	0.550	3.18	0.143	0.464	No.18 と同じタイプ。外面は連弁。連弁の中には刷状の道具で刻花文様。内面には縦状の刻花で区画が作られ、その中に花文が片切彫りで表され、その上から刷状の文様が刻まれる。鏡があり、内底は広め。No.18 より高台の作りは丁寧。量付も平らに作られ、高台裏にかけてもほぼ真下に挟り込みを入れている。
64	2014.07-DS07	東張石坑窯 2 号:29	青磁碗	表面	14.2	63.4	7.70	0.451	3.02	10.4	0.837	口縁部外反し、高台がやや高めの小型の碗。内外面無文。鏡あり。高台量付は平ら。高台内側の挟りは真下に行う。大きめの墊餅が付着している。胎は緻密であるがやや夾雑物あり。基本は高台付け根まで施釉。
65	2014.07-DS08	東張石坑窯 2 号:56	白磁碗	断面	20.5	65.9	11.6	0.165	1.42	0.0562	0.350	元代。口縁部外反。高台量付はやや高め。無文。外面の釉は腰付近で丁寧に釉を拭き取っている。胎は灰白色。
65	2014.07-DS08	東張石坑窯 2 号:56	白磁碗	表面	13.3	65.0	12.9	0.358	2.29	5.30	0.849	わずかに外反する口縁。義窯などの白磁の模倣。外面無文。内面は刻花草花文。内底は鏡あり。高台は量付にかけて細くなる。高台脇から高台内にかけて無釉。ややトギン状。焼きがやや甘いため若干胎は茶白色を呈する。
66	2014.07-DS09	東張石坑窯 2 号:47	白磁碗	断面	21.1	71.5	5.33	0.194	1.34	0.0578	0.438	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
66	2014.07-DS09	東張石坑窯 2 号:47	白磁碗	表面	15.5	66.4	6.36	0.235	1.74	9.06	0.789	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
67	2014.07-DS10	東張石坑窯 2 号:18	白磁碗	表面	16.1	66.6	6.84	0.329	2.04	7.69	0.410	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
68	2014.07-DS11	東張石坑窯 2 号:8	黒釉碗	断面	20.9	66.7	4.56	0.824	6.53	0.0285	0.432	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
68	2014.07-DS11	東張石坑窯 2 号:8	黒釉碗	断面	25.5	62.2	4.52	0.712	6.13	0.127	0.843	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
68	2014.07-DS11	東張石坑窯 2 号:8	黒釉碗	表面	15.5	60.6	8.00	0.931	5.48	8.30	1.16	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
69	2014.07-DS12	東張石坑窯 2 号:6	黒釉碗	断面	20.8	67.1	6.10	0.680	5.01	0.0142	0.324	天目碗。胎は黒。中に夾雑物がある。外面の施釉は丁寧に厚くかけられている。高台量付は斜め状であるがやや平ら。高台裏は浅い削り。
69	2014.07-DS12	東張石坑窯 2 号:6	黒釉碗	表面	18.3	58.2	8.75	0.871	5.62	6.93	1.27	外面には縦位に櫛描文。一部は高台付け根まで刻花。内面は刻花による草花文。その上に之字点列文。一本の点列が長い。内底には鏡あり。片切彫りで文様あり。高台は玉壁状に近く、量付は幅広。釉は胴部半ばよりやや下に薄くかける。胎は灰白色。
70	2014.07-NC01	茶洋窯 95NC 大 罐 T02③:5	青磁碗	断面	21.2	68.1	7.82	0.479	2.00	0.0285	0.402	外面無文。内底に刻花による草花文。高台は小さめ。高台裏はトギン状。釉は底部途中でかか。胎は緻密であるがやや粗い。
70	2014.07-NC01	茶洋窯 95NC 大 罐 T02③:5	青磁碗	表面	13.3	64.6	7.54	0.826	2.99	9.71	1.21	外面無文。内底に刻花による草花文。高台は小さめ。高台裏はトギン状。釉は底部途中でかか。胎は緻密であるがやや粗い。
71	2014.07-NC02	茶洋窯 95NCDT02:58	青磁皿	断面	18.4	70.4	8.02	0.648	1.97	0.186	0.341	口縁部がやや外反。全体に薄い作りであるが粗製品。内外面無文。内底は靴
71	2014.07-NC02	茶洋窯 95NCDT02:58	青磁皿	表面	9.60	70.1	7.58	0.574	1.97	9.34	0.863	口縁部がやや外反。全体に薄い作りであるが粗製品。内外面無文。内底は靴
72	2014.07-NC03	茶洋窯産後山y	青磁碗	断面	10.6	65.3	6.64	0.614	3.63	12.1	1.03	口縁部がやや外反。全体に薄い作りであるが粗製品。内外面無文。内底は靴

72	2014.07-NC03	1 剖① 茶洋窯庵後山y 1 剖①	青磁碗	表面	22.3	67.1	7.25	0.419	2.51	0.0713	0.324	の目状に釉剥ぎ。高台は輪高台状で高台裏まややトキン状。胎は灰白色で夾雑物が多い。外面は腰迄たりまで施釉。
73	2014.07-NC04	茶洋窯 96CAy1T01②A	白磁皿	断面	20.7	69.0	5.35	0.337	2.77	1.12	0.730	高台付きの小皿。口縁部は外折れ。内外面無文。胎は明るい灰白色。夾雑物が多い。釉は外面腰下付近まで。釉の質感は蓋窯の玉縁に多いような感じ。
73	2014.07-NC04	茶洋窯 96CAy1T01②A	白磁皿	表面	16.2	66.2	7.34	0.435	1.36	7.79	0.713	
74	2014.07-NC05	茶洋窯 95NCAY1 剖y II ④	白磁皿	断面	19.1	71.4	7.57	0.205	1.11	0.144	0.514	所謂玉縁の皿。内底には重ね焼きの跡が残る。高台裏には墊餅の跡がつき、量付きにも一部付着。
74	2014.07-NC05	茶洋窯 95NCAY1 剖y II ④	白磁皿	表面	14.8	66.2	8.29	0.421	1.55	8.06	0.695	
75	2014.07-NC06	茶洋窯 95NC 大 罐 T02①:01	白磁(青白磁) 皿	断面	20.9	70.0	7.41	0.374	0.914	0.158	0.342	暮節底の皿。内底には刻花文。やや夾雑物が多い。やや青白色を呈する。
75	2014.07-NC06	茶洋窯 95NC 大 罐 T02①:01	白磁(青白磁) 皿	表面	16.0	64.3	6.49	0.268	0.994	11.0	0.904	
76	2014.07-NC07	茶洋窯	白磁(青白磁) 皿	断面	19.2	69.9	9.13	0.300	0.839	0.0572	0.619	NC.6と同じタイプ。内面無文。
76	2014.07-NC07	茶洋窯	白磁(青白磁) 皿	表面	18.7	65.2	9.92	0.341	1.19	4.05	0.607	
77	2014.07-NC08	茶洋窯南平胡 芦山(馬坪) 1986.8.25	白磁碗	断面	19.5	65.6	11.9	0.320	1.52	0.466	0.673	碗の底部。内底には印花で「壽」の逆字十花文。元代。ピロースタップと同様の文様。外面は無文。高台は付け根部分が灰被碗と同じように横にまっすぐ削りを行い、高台裏の削りも極めて浅い。胎は暗く暗い灰白色。
77	2014.07-NC08	茶洋窯南平胡 芦山(馬坪) 1986.8.25	白磁碗	表面	14.7	59.3	9.36	0.250	1.53	14.5	0.323	
78	2014.07-NC09	茶洋窯	白磁碗	断面	20.3	67.2	8.96	0.323	2.00	0.871	0.402	NC.9 と類似するする雰囲気をもつがやや底が幅広い皿状の器形と思われる。内底には印花により一周圓線がめぐり、その中に花の文様が表されている。高台付け根部は NC.9 と同様に横にまっすぐ削りを行う。但し、高台内はやや浅い削りを行っている。釉は透明で、全体に暗く暗い灰白色を呈する。
78	2014.07-NC09	茶洋窯	白磁碗	表面	14.3	64.9	8.35	0.221	1.37	10.6	0.210	
79	2014.07-NC10	茶洋窯 96CAy1y 外 100	白磁壺底	断面	19.9	71.6	6.05	0.363	1.41	0.202	0.407	壺の底部。白濁色の釉で貫入が見られる。高台裏はやや粗めに削り取られ、高台裏には墊餅の跡が見られる。胎は白色。
79	2014.07-NC10	茶洋窯 96CAy1y 外 100	白磁壺底	表面	19.1	62.3	7.64	0.361	1.39	7.82	1.32	
80	2014.07-NC11	茶洋窯 96CAy1y 頭 y1 ①104	白磁壺頸部	断面	19.0	68.6	9.44	0.310	1.81	0.185	0.585	壺の頸部から口縁部。おそろく双耳をもつものと思われるが、一方の下端を除いて残存していない。胎には夾雑物が多い。灰白色を呈する。また作りとしては胴部をつくり、その上に別作りの頸部～口縁部を軸接させている。
80	2014.07-NC11	茶洋窯 96CAy1y 頭 y1 ①104	白磁壺頸部	表面	13.3	61.6	8.27	0.309	0.748	15.5	0.266	
81	2014.07-NC12	茶洋窯 96CAy1 外中:101	白磁壺底部	断面	25.7	64.7	5.98	0.432	2.92	0.186	0.0465	NC11 の壺と同じタイプの胴下部か。外面の釉は白濁色を呈しており、高台付け根まで施釉。胎は灰褐色を呈する。
81	2014.07-NC12	茶洋窯 96CAy1	白磁壺底部	表面	16.7	61.8	9.08	0.427	0.848	10.2	0.895	

82	2014.07-NC13	外中:101 茶洋窯 95NC 大 罐 v5.4	黒釉碗	断面	22.2	66.4	8.21	0.488	2.00	0.0710	0.646	黒釉の小碗。口縁部は白色。胴部は黒色。胎は白褐色。鏝あり。高台は量付がやや幅広い。高台裏のわずりは一周簡単な削り。トキンあり。
82	2014.07-NC13	茶洋窯 95NC 大 罐 v5.4	黒釉碗	表面	12.4	63.2	7.30	1.20	4.81	10.0	1.10	
83	2014.07-NC14	茶洋窯 95NCA 部Ⅱ層	黒釉小皿	断面	28.0	59.8	6.25	0.721	4.73	0.0423	0.443	灯明皿のように小さい。口縁部は釉剥ぎ。外面は無釉。裏筋底。
83	2014.07-NC14	茶洋窯 95NCA 部Ⅱ層	黒釉小皿	表面	14.2	61.9	7.97	1.04	4.97	9.36	0.609	
84	2014.07-DT001	汀溪窯	青磁碗	断面	18.6	70.9	7.24	0.290	2.14	0.130	0.779	口縁部は内傾。外面は片切彫りで櫛描文。口縁下に横位の沈線。内面は片切彫りで草花文。之字点列文。胎土は灰白色。胎土内には夾雑物あり。釉は薄い。青黄色を呈する。
84	2014.07-DT001	汀溪窯	青磁碗	表面	15.8	62.4	7.57	0.359	1.81	10.05	1.94	外面は櫛描文が縦位、斜位に施される。櫛描文の単位ははつきりしている。内面は鏝あり。側面には片切彫りによる草花文とその上には点列文。部分的には刺凸せず引きずりなが施文が行われている。釉は青黄色。高台付け根まで施釉。量付きは平坦に調整され、高台内も丁寧に削りを行う。ややトキン状。胎はやや白が強い灰白色。
85	2014.07-DT01	汀溪窯	青磁碗	断面	23.5	68.4	5.29	0.181	2.16	0.0144	0.451	外面は櫛描文が縦位、斜位に施される。櫛描文の単位ははつきりしている。内面は鏝あり。側面には片切彫りによる草花文とその上には点列文。部分的には刺凸せず引きずりなが施文が行われている。釉は青黄色。高台付け根まで施釉。量付きは平坦に調整され、高台内も丁寧に削りを行う。ややトキン状。胎はやや白が強い灰白色。
85	2014.07-DT01	汀溪窯	青磁碗	表面	15.3	65.3	7.29	0.269	1.88	8.28	1.69	
86	2014.07-DT02	汀溪窯	青磁碗	断面	18.4	72.0	6.20	0.229	2.54	0.0720	0.561	DT01と同じタイプ。
86	2014.07-DT02	汀溪窯	青磁碗	表面	16.1	65.1	6.40	0.293	1.58	9.22	1.36	
87	2014.07-DT03	汀溪窯	青磁碗	断面	20.4	71.6	5.19	0.243	1.87	0.174	0.517	内面は片切彫りによる流麗な草花文。外面は櫛描文。但し、単位ははつきりせず全体に施文される。鏝あり。高台は輪高台状を呈する。高台内側の扱りは薄い。胴下部まで施釉。深い青黄色を呈する。器壁は薄い。灰白色。夾雑物が多い。
87	2014.07-DT03	汀溪窯	青磁碗	表面	14.2	63.2	7.80	0.231	2.33	10.6	1.71	
88	2014.07-DT04	汀溪窯	青磁碗	断面	21.2	67.7	7.64	0.227	2.35	0.0712	0.756	外面は片切彫り状の櫛描文。内面は刻花文と之字点列文。鏝あり。胎は灰白色で夾雑物あり。高台量付は幅が狭い。青黄色の釉色を呈しており、基本的に高台付け根まで施釉され一部高台脇まで見られる。
88	2014.07-DT04	汀溪窯	青磁碗	表面	12.4	63.7	9.80	0.253	1.72	10.5	1.66	
89	2014.07-DT05	汀溪窯	青磁碗	断面	20.6	69.5	6.22	0.264	2.89	0.00	0.528	外面は無文の可能性。内面は刻花文と之字点列文。鏝あり。外面は高台近くまで施釉。青黄色を呈する。高台裏は削りを最後行う。胎は濃い灰白色。
89	2014.07-DT05	汀溪窯	青磁碗	表面	15.9	61.4	7.97	0.207	2.58	10.0	1.92	外面は無文かあるいは櫛描文か。鏝なし。之字点列文。胎は灰白色で夾雑物あり。内底には重ね焼きの痕跡あり。
90	2014.07-DT06	汀溪窯	青磁碗	断面	18.1	73.2	6.01	0.194	2.29	0.0144	0.219	外面は無文かあるいは片切彫りで一周斜め状の刻花文。その下を蛇の目状に釉剥ぎを行う。重ね焼きの痕跡も見られる。重ねる時には砂も敷いていたとと思われる。外面には釉は口縁下まで。高台量付は外側に向かって斜め状。高台裏の扱りの薄い。釉は薄い青灰色。胎は灰白色で夾雑物あり。
90	2014.07-DT06	汀溪窯	青磁碗	表面	18.7	62.1	8.63	0.244	2.41	6.45	1.43	
91	2014.07-DT07	汀溪窯	青磁皿	断面	22.5	67.1	5.64	0.269	2.60	1.72	0.174	錫緑口縁部。内壁には片切彫りで一周斜め状の刻花文。その下を蛇の目状に釉剥ぎを行う。重ね焼きの痕跡も見られる。重ねる時には砂も敷いていたとと思われる。外面には釉は口縁下まで。高台量付は外側に向かって斜め状。高台裏の扱りの薄い。釉は薄い青灰色。胎は灰白色で夾雑物あり。
91	2014.07-DT07	汀溪窯	青磁皿	表面	14.6	61.9	6.16	0.115	2.07	14.8	0.313	
92	2014.07-DT08	汀溪窯	青磁皿	断面	21.8	71.0	3.57	0.267	2.69	0.101	0.518	DT17と同じタイプ。外面の釉は胴部半ばくらいまで。
92	2014.07-DT08	汀溪窯	青磁皿	表面	14.7	60.9	6.12	0.138	1.62	16.1	0.489	
93	2014.07-DT09	汀溪窯	青磁皿	断面	22.8	67.0	7.17	0.181	1.90	0.316	0.700	口縁部成形した後に型により成形していると思われる。高台がないタイプ。釉は胴下部まで。濃い水色を呈する。無文。胎は薄い灰白色。

93	2014.07-DT09	汀溪窯	青磁皿	表面	14.4	58.1	6.39	0.125	1.83	18.6	0.586	
94	2014.07-DT10	汀溪窯	白磁碗	断面	16.3	73.1	7.98	0.109	1.48	0.361	0.688	碗。玉縁タイプ。外面半ばほどまで施釉。胎は白が強い。高台裏には藍餅が付着。
94	2014.07-DT10	汀溪窯	白磁碗	表面	17.1	64.3	8.50	0.175	1.78	7.19	1.01	
95	2014.07-DT11	汀溪窯	白磁碗	断面	18.2	71.8	7.57	0.157	1.69	0.101	0.482	DT10と同じタイプ。胎は灰白色で夾雑物が見られる。
95	2014.07-DT11	汀溪窯	白磁碗	表面	16.9	65.1	9.22	0.210	0.981	6.61	0.890	
96	2014.07-DT12	汀溪窯	白磁碗	断面	21.2	67.7	9.01	0.167	1.52	0.00	0.477	DT10と同じタイプ。胎は灰白色で夾雑物が見られる。
96	2014.07-DT12	汀溪窯	白磁碗	表面	18.9	61.5	8.52	0.209	1.54	8.70	0.629	